

自然と生き物の色々な話

～歯の形からわかる動物の食生活～

今回は動物の歯を観察してみましょう。

歯のない動物もありますが、ほとんどの動物は歯を持っています。

歯と一言で言っても動物ごとにその様子は違います。敵から身を守るために使うこともあります。主にものを食べることに使います。例として、イルカとイノシシの歯を比べてみましょう。下の写真を見てください。



カマイルカの頭骨



イノシシの頭骨



カマイルカの歯



イノシシの歯

カマイルカの歯

カマイルカは海中に棲息し、主に魚を食べます。

歯はすべて尖っており、獲物である魚を逃がさないように歯で突き刺したりして、魚をしっかりと捕まえることができます。

イノシシの歯

イノシシは陸上に棲息し、主に植物とネズミや虫等の小動物を食べます。

土を掘るための下前歯と牙以外、歯は平べったくになっており、草や肉を噛みきり、すりつぶすことができます。



歯の形から分かること

このように動物の歯の形は、その動物が何を食べているのかを考^{かんが}える大きな手がかりになります。



例えば、ティラノサウルスの生きてい^いる姿^{すがた}を見た人は誰もいないはずなのに、肉食^{にくしょく}の恐竜^{きょうりゆう}だと分かっているのはなぜでしょうか？

その理由^{りゆう}の一つは、ティラノサウルスの化石^{かせき}に肉^{にく}を切り裂^きける形^{かたち}をした歯^はが残^{のこ}っているからです。同じようにトリケラトプスが草食^{そうしょく}の恐竜^{きょうりゆう}だと分かっているのも、草^{くさ}を食べるのに適^たした形^{かたち}の歯^はが残^{のこ}っているからです。

動物の中には、歯^はが無いものもいます。

例としては、下^{した}の写真^{しやしん}にあるシロナガスクジラやアリクイです。

なぜこれらの動物^{どうぶつ}には歯^はが無いのでしょうか？



彼^{かれ}らの食べ^たるもの^{ちゆうもく}に注^{ちゆう}目^{もく}してみると、シロナガスクジラは、オキアミなどを海水^{かいすい}ごと口^{ぐち}に入れ、口^{くち}の中のヒゲで濾^なしとってそのまま丸^{まる}呑^のみしています。アリクイは、アリをそのまま丸^{まる}呑^のみしています。

どちらも大きな生き物^{おお}が小さな生き物^いを大量^{ちい}に丸^い呑^{もの}みしているの^{たいりよう}で、獲物^{まるの}を捕^えらえるための歯^はも、食^たべ物^{もの}をすりつぶすための歯^はもいりません。歯^はがなくても、ごはん^{おもしろ}を食べ^たられるのです。

今回^{こんかい}紹^{しょう}介^{かい}した以外^{いがい}にも、動物^{どうぶつ}によっていろ^{いろ}々な形^{かたち}の歯^はがあります。例^{たと}えば、ネズミやリスは大きな前^{おお}歯^{しら}を持^もっていますが、彼^{かれ}らは何^{なに}を食^たべているのでしょうか？調^{しら}べてみると面白^{おもしろ}いかもしれませ^ん。

